

令和元年度第三次富士市情報化計画実施状況について

1. 計画概要

第三次富士市情報化計画は、本市における情報化施策を総合的・計画的に推進していくため、計画期間を平成29年度から令和2年度の4年間とし、134の情報化事業を定めました。

平成29年度には1事業を完了、1事業を中止とし、平成30年度には新規事業として3事業を追加、令和元年度には1事業を追加し、全136の事業について計画を進めました。

2. 実施状況

本計画の3年目である令和元年度における情報化事業の実施状況は、表1に示すとおりであり、全136事業中、実施中が135事業、中止が1事業で、完了、未実施の事業はありませんでした。

中止した事業は、「幼稚園就園奨励費補助金管理システムの運用」事業であり、令和元年10月に開始した教育・保育の無償化に伴い、事業自体を廃止したものです。

表1 実施状況

事業分類	完了	実施中	中止	未実施	合計
1 重点事業	0件 (0%)	15件 (100%)	0件 (0%)	0件 (0%)	15件
2 推進事業	0件 (0%)	21件 (100%)	0件 (0%)	0件 (0%)	21件
3 継続事業	0件 (0%)	99件 (99%)	1件 (1%)	0件 (0%)	100件
合計	0件 (0%)	135件 (99%)	1件 (1%)	0件 (0%)	136件

3. 評価結果

情報化事業の所管部署において、進捗状況、コスト、取組内容の3つの視点から、令和元年度末時点での自己評価を実施し、その結果、表2に示すとおり、全136事業中、評価Aが40事業、評価Bが89事業となり、約95%がB評価以上でした。

評価Cの7件については、当初の計画策定後、継続運用の中でシステム更新の際に追加の費用を要したことによるものです。

表2 評価結果

事業分類	S	A	B(普通)	C	D	合計
1 重点事業	0件 (0%)	3件 (20%)	12件 (80%)	0件 (0%)	0件 (0%)	15件
2 推進事業	0件 (0%)	5件 (24%)	16件 (76%)	0件 (0%)	0件 (0%)	21件
3 継続事業	0件 (0%)	32件 (32%)	61件 (61%)	7件 (7%)	0件 (0%)	100件
合計	0件 (0%)	40件 (29%)	89件 (66%)	7件 (5%)	0件 (0%)	136件

4. 重点事業の進捗状況

本計画では、重要度の高い事業として、15の事業を重点事業と決めました。令和元年度末時点における重点事業の現況及び評価結果は表3に示すとおりです。

表3 重点事業の現況と評価

事業名称		現況(段階)	評価
1	マイナンバーカードを活用したサービスの拡充	導入準備	B
2	子育てワンストップサービスの提供	運用・実施	B
3	ICTを活用した新しいワークスタイルの研究	導入準備	B
4	情報化推進体制の強化	運用・実施	B
5	AI・IoTの行政サービスへの活用	導入準備	B
6	ICT-BCPの策定	運用・実施	B
7	情報セキュリティ対策の運用	運用・実施	B
8	オープンデータの提供・活用	運用・実施	B
9	公衆無線LAN環境のあり方の検討	運用・実施	A
10	シティプロモーションの推進	運用・実施	A
11	観光プロモーションの推進	運用・実施	B
12	官民データ活用推進基本法に関する事項の情報化計画への反映	運用・実施	B
13	最適な情報提供手段の見直し	運用・実施	B
14	富士市災害情報共有システムの構築	運用・実施	B
15	富士市結婚相談・縁結び支援事業	運用・実施	A

5. 令和2年度新規事業

今年度、新たに取り組む事業として、「RPAの利活用」、「デジタルマーケティング推進事業」、「会議録作成支援システムの導入」、「市民通報システムの利活用」、「児童家庭相談システムの導入」、「本会議生中継・録画配信の運用」の6事業を計画に追加しました。

6. 今後の方針

実施状況及び評価結果から、多くの事業が順調に進捗していることがわかりました。これらの事業については、今後も継続した取組を進めます。